

株式会社神戸ポートピアホテル

環境活動レポート

2011年度上期

(活動期間：2011年4月1日～2011年9月30日)



発行 2011年10月

目 次

□ 株式会社神戸ポートピアホテル環境宣言・・・・・・・・	3頁
□ 登録事業所の概要・・・・・・・・	4頁
□ 環境マネジメント体制・・・・・・・・	5頁
□ 環境マネジメントシステム認証取得・・・・・・・・	6頁
□ 環境活動の取り組み施策と評価・・・・・・・・	6頁
□ 2011年度上期の環境活動・・・・・・・・	7頁
□ 環境関連法規の遵守状況・・・・・・・・	10頁
□ 2011年度上期の活動評価と今後の課題・・・・・・・・	10頁
□ 環境レポートについてのお問い合わせ先・・・・・・・・	11頁

株式会社神戸ポートピアホテル環境宣言

基本理念

弊社は、兵庫県神戸市の海上都市ポートアイランドに位置し、1981年のオープン以来、「企業の社会的責任」を柱のひとつとして、地域社会に支えられて経営してまいりました。

従業員一同は、いまや企業の社会的責任として地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会を目指して、あらゆる面で環境負荷の低減に配慮する「地球環境にやさしいホテル」をめざしてまいります。

方針

神戸ポートピアホテルは、ホテル業、飲食店営業等の事業活動、製品及びサービスの環境負荷を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメントシステム活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 省資源とリサイクルの推進
 - (3) 「地球環境にやさしいホテル」を目指すための環境教育の推進
 - (4) 環境への配慮の推進
 - (5) 地域社会との調和
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 神戸市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメント活動を推進します。

制定日2007年12月1日

改訂日2010年10月1日

株式会社神戸ポートピアホテル
代表取締役社長 中内 仁

□ 登録事業所の概要（2011年9月30日現在）

1. 事業者名及び代表者氏名

株式会社神戸ポートピアホテル
代表取締役社長 中内 仁

2. 所在地

本 社：兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10番地1
事業所（2011年3月31日現在、以下はサイトに入っておりません）

(1) レストラン「ジョリポー」

神戸市中央区港島1丁目1-3
神戸学院大学B号館1階（506.19㎡）

(2) 首都圏営業

東京都千代田区鍛冶町1丁目9番11号
石川COビル3階（98.19㎡）

(3) 大阪営業所

大阪市中央区北浜3丁目1番21号
松崎ビル8階（66.01㎡）

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総支配人 森下榮生
担当者 総務担当部長 森 浩
連絡先 電話:078-302-1111 FAX:078-302-6877

4. 事業内容

ホテル業、飲食店営業等
<http://www.portopia.co.jp>

5. 事業の規模

資本金 45億円
年間売上 8,700百万円（2010年度）
従業員数 814名

延床面積

本館	62,295.110㎡
南館	39,229.040㎡
ポートピアホール	10,696.870㎡
立体駐車場	10,815.247㎡

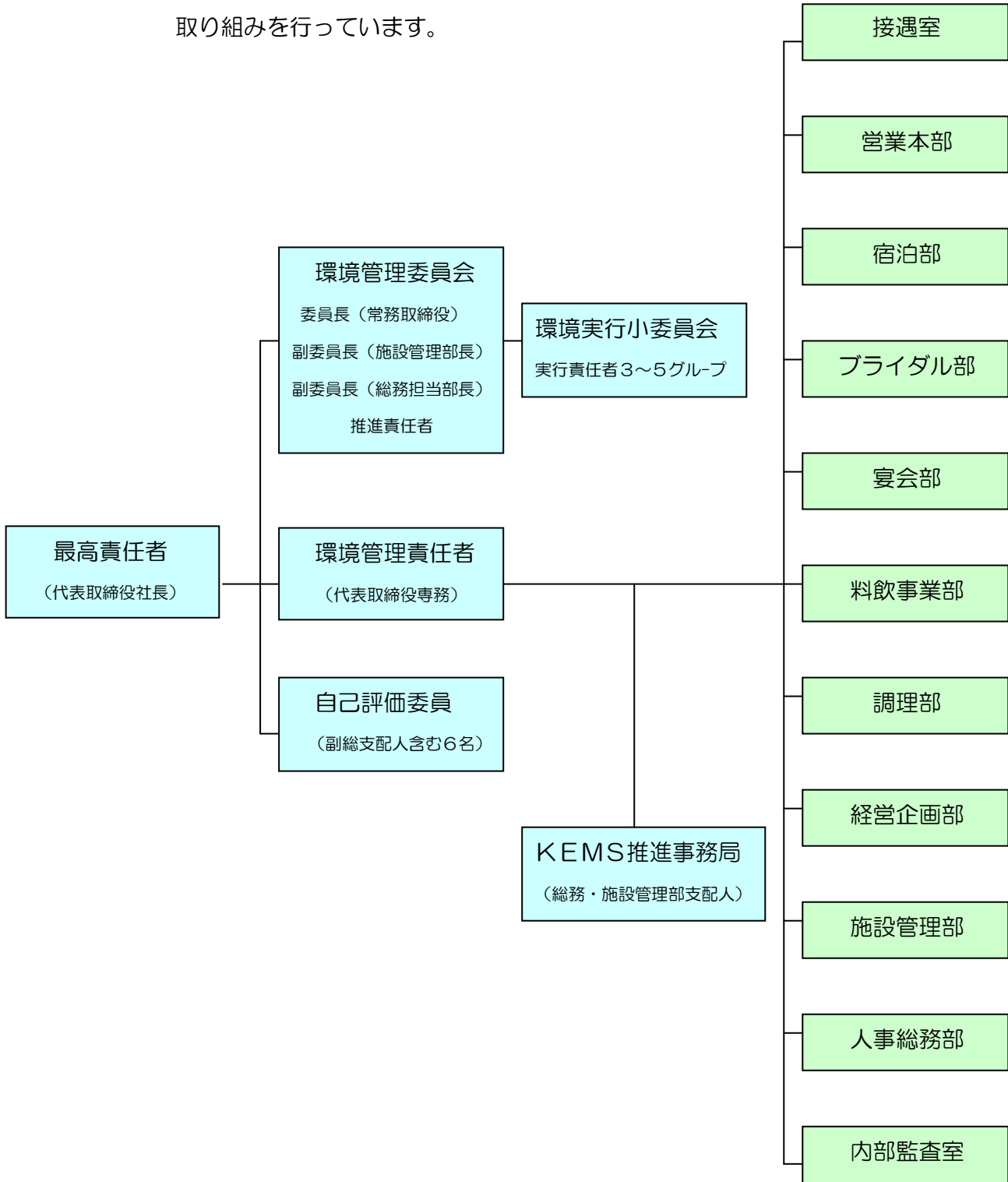
6. 事業年度

4月～3月

□ 環境マネジメント体制

最高責任者のもと、各部署に推進責任者（部長）、実行責任者（支配人、料理長）を任命し、環境改善活動に取り組んでいます。

また、各部署ごとに独自の部門改善目標を設定して取り組みを行っています。



□ 環境マネジメントシステム認証取得

審査登録機関：こうべ環境フォーラム
 登録種類：KEMSステップ2
 登録日：2008年3月31日
 登録番号：KEMS2-0087

□ 環境活動の取り組み施策と評価

5つの環境改善目標の2011年度上期の達成度はつぎのとおりです。

環境改善目標	具体的施策	2011年度上期		達成度	評価
		目標	実績		
省エネルギーの推進 電気、ガス、水道使用量の削減 (原単位で2010年比2%削減)	1. 空調・照明の適正管理は、各部チェックリストで行う 2. 省エネパトロールの実施 1ヶ月に1回の全館巡回点検実施	4.83 Kg-CO2/人	5.04 Kg-CO2/人	95.8	B
省資源とリサイクルの推進 可燃ごみの減量 (2010年比2%削減)	1. 分別排出ルールの徹底 必ずごみ指定袋で排出 2. OA紙の削減	189,018 Kg	187,323 Kg	100.9	A
省資源とリサイクルの推進 資源ごみ回収量の増加 (2010年比2%増)	3. 保管場所の指定 4. 計量・記録の実行	32,100 Kg	30,620 Kg	95.4	B
「地球環境にやさしいホテル」を目指すための環境教育の推進	1. 年2回の環境講習会の開催	1回	1回	100	A
環境への配慮の推進 事務用品、消耗品のグリーン購入シェアアップ (エコ商品品目数シェアで55%をめざす)	1. 購入商品の検討 (費用対効果の検討) 2. 購入時期の計画	52.5%	52.8%	100.6	A
地域社会との調和 ホテル周辺の美化運動	1. 毎月1回の美化活動の実施	6回	6回	100	A

評価基準A：良好（100%以上） B：やや不足（90%以上～100%未満） C：不適合（90%未満）

□ 2011年度上期の環境活動

1. 省エネルギーの推進

(1) 電気

①夏の節電策の実施

7月1日から9月22日までの平日午前9時から午後8時まで、関西電力株式会社より15%の節電協力の要請があり節電対策を実施しました。

おもな節電施策はつぎのとおりです。

- ・本館、南館の客用エレベーターは、台数を制限し運用しました。
- ・フロントロビーのメインラウンジの光天井の照明を50%消灯しました。
- ・ゲストスペースの室温を、23℃から24℃に設定変更しました。
- ・従業員スペースの室温を、25℃から27℃に設定変更しました。
- ・レストラン閉店後や宴会場の使用を終了したときは、すぐに消灯するよう徹底しました。
- ・社内掲示板には、関西電力「でんき予報」や「当社電気使用ピーク度予想カレンダー」を掲示して、社内に節電を呼びかけました。

当社での電気使用ピーク予想日は、館内省エネパトロールを実施して節電に努めました。

また、7月7日には、兵庫県農政環境部によるライトダウンの呼びかけに参加し、本館・南館屋上のネオンサインの消灯を実施しました。

②節電の取り組み

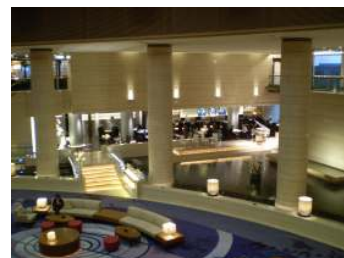
- ・宴会場、レストランの照明、空調は、片付け作業終了後、速やかに消灯して無駄な電力消費をなくすよう、各部署の実行責任者が管理標準を定めて管理をおこなっています。
- ・客室フロアでは、リネン類の倉庫等の不使用時消灯を徹底しています。
- ・その他、各部署の事務室では蛍光灯にプルスイッチをつけて必要のない照明はこまめに消灯する工夫をしています。

③ガスタービンコージェネレーションシステム

ポートピアホテルでは、CO₂排出量がより少ないガスタービンコージェネレーションシステムを導入して発電を行うとともに、その廃熱を空調用熱源、給湯に利用しています。

④LED照明器具の導入

2010年3月、フロント車寄せのダウンライト、メインラウンジ光天井の照明をLEDに交換しましたが、それに続き2011年2月には、ティーラウンジの改装に際しまして、LED照明を採用いたしました。また、2011年8月には、本館1、2階ロビーの照明や、本館地下1階正面玄関のイルミネーションをLED照明に交換いたしました。



⑤客室カードキーに節電システムを導入

客室のカードキーは、お客様が入り口のキーポケットに差し込んである間のみ通電する仕組みとなっています。これにより不在時の空調の運転による電力消費を防いでいます。



⑥省エネ電球

客室内の照明は、可能なものは電球を白熱球から蛍光球に切り替え、省エネルギーをはかっています。

(2) ガス

厨房では、調理の中断時、弱火のままで放置するのではなく、必ず種火にして、ガスの消費が必要最小限となるよう努めました。

(3) 水道

- ・ 客室フロアでは、グラス類の洗浄時に水を流し放しにしないよう徹底しました。
- ・ 厨房や食器洗浄場においても水の流し放しはしないよう努めました。
- ・ 15箇所の厨房に節水装置を導入しています。

2. 省資源とリサイクルの推進

①ごみの分別回収の徹底

ごみは15品目に分別して、本館地下2階の塵芥処理室内の決められた場所に回収して、ごみの分別とリサイクルの推進に努めています。またごみは塵芥処理室内に備え付けのはかりで計量・記録し、正確なごみの排出量を把握しています。

②賞味期限の管理

各レストラン・厨房では、賞味期限の週一回点検を実施して賞味期限切れ食品を発生させない体制をつくっています。

③エコキャップの取り組み

当社では、ペットボトルの分別回収を推進していますが、全社員が回収箱に投入する際には、「キャップをはずしてから捨てる」運動を実施しています。これにより、キャップを回収し再資源化を促進することによりCO₂の発生抑制に寄与できると同時に、売却益で感染症に苦しむ開発途上国の子供たちにポリオワクチンを届けることができます。

2011年4月から9月まで、52,000個のキャップを回収いたしました。

④廃食用油のリサイクル

厨房から出る廃食用油(年間約30トン)は飼料の原料にリサイクルされています。

⑤客室アメニティ

客室内アメニティのシャンプー・リンス、ボディソープ・ハンドソープは、小口の使い捨て容器から詰め替え式ボトルに変更して、石鹸や容器の廃棄量を削減しています。ボトルの注入ねじ部分は安全と衛生のため、収縮フィルムで密封しています。

⑥タオル類の再使用のお願い

水質汚染防止・節水を進めるため、連泊のお客様に、タオル類は差し支えのないかぎり、できるだけ続けてご使用いただくよう、お願いカードを客室内に設置しています。

⑦OA用紙使用量の削減

両面印刷、集約印刷の活用やOA用紙裏紙の有効利用により、使用量削減につとめています。

3. 「地球環境にやさしいホテル」を目指すための環境教育の推進

2011年7月28日、29日の両日、上期の環境講習会を開催しました。講師には、大阪ガス株式会社エネルギー事業部の木村賢弘氏をお迎えしました。

今回の講習会は、「コージェネレーションシステム」と題しまして、日本における省エネルギーの流れや当社ですでに導入しているガスコージェネレーションシステムについて興味深いお話を伺いました。

この講習会には、両日であわせて約200名が参加しました。

4. 環境への配慮の推進

仕入れ部門では、事務用品を中心にグリーン商品を優先的に購入しました。

2011年月9月末現在のグリーン商品購入シェアは、52.8%となっています。

5. 地域社会との調和

毎月1回、ボランティアの従業員をメンバーとして、ホテル周辺の美化清掃を実施しました。2011年4月から2011年9月まで、延べ522名が参加しました。



□ 環境関連法規の遵守状況

1. 適用となる主な環境関連法規

区分	適用法律の名称
大気汚染	大気汚染防止法 自動車NO _x ・PM法
水質・土壌	下水道法
廃棄物	廃棄物処理法
リサイクル	資源有効利用促進法 家電リサイクル法 自動車リサイクル法 容器包装リサイクル法 食品リサイクル法
食品衛生	食品衛生法 JAS法
化学物質	フロン回収破壊法 消防法 高圧ガス保安法（R-22）
エネルギー	省エネルギー法
地方条例等	環境の保全と創造に関する条例 神戸市との環境保全協定 神戸市自動車環境条例 神戸市廃棄物の適正処理、利用及び環境美化に関する条例 神戸市火災予防条例

2. 環境関連法規の遵守状況と違反訴訟等

環境関連法規の順守状況について、定期評価を2011年1月に実施した結果、法規制からの逸脱は認められません。また関係機関等から違反について特に指摘はありません。訴訟等も同様にあります。

□ 2011年上期の活動評価と今後の課題

1. 「省エネルギーの推進」

削減努力の結果をより明確に把握するため、エネルギー消費量の原単位管理を変動部分（例：レストランや宴会場）のみをとる算出方法へ2010年10月より変更しておりますが、2011年9月末の達成度は95.8%、B評価となりました。ただし、CO₂総量では、2011年9月末の累計値を2010年9月末と比較すると、5%削減することができました。

ホテルご利用人数が、累計で2010年9月比6.6%減となっていることも目標未達成の大きな原因と考えられます。ご利用人数の増加を目指して、より魅力のある商品を提案していきます。

2. 「リサイクルの推進」

- (1) 可燃ごみの減量につきましては、2011年9月末現在で達成度100.9%のA評価となりました。ごみ減量の努力とともに、ご利用人数の減少によるごみ排出量の減少も要因と考えられます。
- (2) 資源ごみ回収量の増加につきましては、可燃ごみの減量と同様、ご利用人数の減少もあり、達成度95.4%のB評価となりました。ご利用人数の増減が目標達成に影響する目標のひとつですが、「ごみ分別」をより一層徹底することにより、少しでも回収量を増加させていきます。

3. 「地球環境にやさしいホテルを目指すための環境教育の推進」

環境講習会は上期1回開催が目標で、外部より講師をお迎えして、目標どおり1回開催いたしました。

4. 「環境への配慮の推進」

事務用品、消耗品のグリーン購入シェアアップは、2011年9月末の目標52.5%に対しまして、目標を上回り、100.6%の達成度、A評価となりました。2011年度は、55%を目標にシェアアップに取り組んでいます。

5. 「地域社会との調和」

毎月1回のホテル周辺の美化活動の実施を目標に掲げ、6回実施して目標を達成することができました。

この美化活動は、従業員のボランティアに支えられていますが、全従業員が参加することに意義があると考え、未参加者に対しても積極的な参加を呼びかけしていきます。

□環境レポートについてのお問い合わせ先

神戸市中央区港島中町6丁目10番地1 神戸ポートピアホテルKEMS推進事務局
TEL：078-303-5214
FAX：078-302-1137
e-mail：soumu@portopia.co.jp